

# 令和5年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

## 高等学校・保健体育 問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

### 注 意

- 1 この問題は8問4ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配付します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

令和 5 年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

## 高等学校 保健体育

1 次の文章を読んで (1), (2) の問いに答えよ。

けがや急病の際に、その場にいあわせた人がおこなう ( ① ) の手当を応急手当といいます。応急手当は、( ② ) を救うことばかりでなく、傷害の悪化を防いだり、苦痛をやわらげたりすることにも役立ちます。また、その後続く救急隊員や ( ③ ) による処置や ( ④ ) の効果を高めます。

応急手当は実行されて初めて意味をもちます。しかし、わが国では応急手当が ( ⑤ ) におこなわれているとはいえません。誰もが応急手当の手順や方法を理解し身につけておくとともに、自ら進んで実行できる態度を養っておくことは、自他の ( ② ) や身体を守り、安全で安心な社会をつくることに役立ちます。

- (1) ①～⑤に当てはまる語句を、下のア～クから選び、それぞれ記号で記せ。なお、同じ番号には同じ語句が入るものとする。

ア 介護士	イ 緊急	ウ 予防	エ 生命
オ 治療	カ 平時	キ 積極的	ク 医師

- (2) 捻挫や打撲の応急手当の基本である R I C E 処置とは、4つの処置の頭文字をとったものである。それぞれの処置について、記せ。

2 次の (1) ～ (4) の問いに答えよ。

- (1) ラグビーで、タックルを受けて倒されたプレーヤーがボールをかかえて離さない反則を何というか、記せ。
- (2) ソフトテニスで、ラケットの面を地面に対して水平に置いて、グリップを上から握る握り方を何グリップというか、記せ。
- (3) バドミントンで、シャトルがどこに飛んできて追いつくことができるプレーヤーのコート上の位置を何というか、記せ。
- (4) ハンドボールで、オーバーステップとはどのような反則か、記せ。

3 次の (1), (2) の問いに答えよ。

- (1) マット運動の倒立前転において、補助者の安全を確保した補助方法を記せ。
- (2) バレーボールにおいてスパイクする際、強打以外の技術を三つ記せ。

4

次の文章は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 保健体育編 体育編「第1章 第2節 1 保健体育科改訂の趣旨 ③ 改善の具体的事項」の一部である。a～cに当てはまる語句をそれぞれ記せ。なお、同じアルファベットには同じ語句が入るものとする。

ア 高等学校「体育」については、平成28年12月の中央教育審議会答申において「生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続し、スポーツとの多様な関わり方を状況に応じて選択し、卒業後も継続して（ a ）することができるよう、『知識・技能』、『思考力・判断力・表現力等』、『学びに向かう力・人間性等』の育成を重視する観点から内容等の改善を図る。また、『保健』との一層の関連を図った内容等について改善を図る。

(ア) 各領域で身に付けたい具体的な内容を、資質・能力の三つの柱に沿って明確に示す。特に、『思考力・判断力・表現力等』及び『学びに向かう力・人間性等』の内容の明確化を図る。また、（ b ）や技能の程度、年齢や性別及び障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を社会で（ a ）することができるよう配慮する。

(イ) 体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、健康や（ b ）の状況に応じて自ら（ b ）を高める方法を身に付け、運動やスポーツの（ c ）化につなげる観点から、体づくり運動の内容等について改善を図る。

5

次の文章は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）「第2章 第6節 保健体育 第2款 第1 体育 2 内容 F 武道」の一部である。（1）、（2）の問いに答えよ。

武道について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1) 次の運動について、勝敗を競ったり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、（ ① ）な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解するとともに、（ ② ）などを用いた攻防を展開すること。

ア 柔道では、相手の動きの変化に応じた（ ③ ）から、（ ② ）や連絡技・（ ④ ）を用いて、素早く相手を（ ⑤ ）て投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防をすること。

イ 剣道では、相手の動きの変化に応じた（ ③ ）から、（ ② ）を用いて、相手の構えを（ ⑤ ）、素早く（ ⑥ ）たり応じたりするなどの攻防をすること。

- (1) ①～⑥に当てはまる語句をそれぞれ記せ。なお、同じ番号には同じ語句が入るものとする。  
 (2) 下線部「連絡技」について、説明せよ。

6

次の(1)，(2)の問いに答えよ。

- (1) 次の文章は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）「第2章 第6節 保健体育 第2款 第2 保健 2 内容」の一部である。①～③に当てはまる語句を記せ。

ア 現代社会と健康について理解を深めること。

(ア) 健康の考え方

国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や（①）構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。

健康の保持増進には、（②）の考え方を踏まえた（③）の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わること。

(イ) 現代の感染症とその予防

感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、（③）の取組及び社会的な対策を行う必要があること。

- (2) 次の資料は、「新型コロナウイルス感染症の予防 ～子供たちが正しく理解し、実践できることを目指して～」(令和4年3月改訂 文部科学省)に示された指導例の一部である。①、②の問いに答えよ。

〈テーマ〉 新型コロナウイルス感染症に関連する【 A 】や【 B 】

【ねらい】 新型コロナウイルス感染症に関連する【 A 】や【 B 】について考え、適切な行動をとることができるようにする。

〔指導内容〕

○感染者、濃厚接触者、（ a ）従事者、社会機能の維持にあたる方等とその（ b ）に対する誤解や【 B 】に基づく【 A 】は許されないこと。

○見えないウイルスへの不安から、特定の対象（※1）を嫌悪の対象としてしまうことで、【 A 】や【 B 】が起こること。

※1 ・感染症が広がっている地域に住んでいる人 ・咳をしている人  
 ・マスクをしていない人 ・外国から来た人  
 ・ワクチンを接種していない人、接種できない人

○【 A 】や【 B 】のもととなる「（ c ）」を解消するためにも、正しい情報（公的機関が提供する情報）を得ること、（ d ）情報ばかりに目を向けないこと、【 A 】的な言動に同調しないことが大切であること。

- ① 文中のA，Bに当てはまる語句を記せ。

- ② 文中のa～dに当てはまる語句を下のア～クから選び、それぞれ記号で記せ。

ア 不安	イ 沈む	ウ 医療	エ 第三者
オ 福祉	カ 家族	キ 不正	ク 悪い

7

高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 保健体育編 体育編 「第 1 部 第 2 章 第 2 節 各科目の目標及び内容」の一部である。①，②の問いに答えよ。

- ① 「体育 3 内容 E 球技 [入学年次] (1) 知識及び技能 ア ゴール型」に示されている「空間を作りだすなどの動き」について，攻撃側と守備側の動きをそれぞれ説明せよ。
- ② 「体育 4 内容の取扱い 「体育」の領域及び内容の取扱い」について，(あ)，(い)に答えよ。
- (あ) 「G ダンス」の領域の内容を三つ記せ。
- (い) 下の表の a～e に当てはまる語句や数字を記せ。

領域及び領域の内容	内容の取扱い			
	入学年次	その次の年次	それ以降の年次	各領域の取扱い
H 体育理論	必修	必修	必修	(1) は入学年次， (2) はその次の年次， (3) はそれ以降の年次で 必修（各年次 【 e 】単位時間 以上）
(1) スポーツの【 a 】的特性や【 b 】のスポーツの発展				
(2) 運動やスポーツの【 c 】的な学習の仕方				
(3) 豊かなスポーツライフの【 d 】の仕方				

8

次の(1)～(4)について，説明せよ。

- (1) 心室細動
- (2) セカンド・オピニオン
- (3) クローズドスキル
- (4) ユニバーサルデザイン

受検番号	
------	--

氏名	
----	--

※

--

-----  
 切り取らないこと  
 -----

※

--

令和5年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

**高等学校 保健体育 解答例**

1	(1)	①	イ	②	エ	③	ク	各1点	
		④	オ	⑤	キ				
13	(2)	R	安静 (Rest)		I	冷却 (Ice)		各2点	
		C	圧迫 (Compression)		E	挙上 (Elevation)			
2	(1)	ノットリリースザボール							各2点
	(2)	ウエスタン (グリップ)							
	(3)	ホームポジション							
	(4)	ボールを持って4歩以上動くこと。							
3	(1)	補助者は倒立する人の横で待ち構え、膝を持って倒立の補助をし、足が背面側に移動してから手を離す。 等							4点
	(2)	フェイント							各2点
		ブロックアウト							
		コースの打ち分け 等							順不同
4	a	実践		b	体力		c	習慣	各2点
6									

裏面に続く

5	(1)	①	伝統的	②	得意技	③	基本動作	各2点
		④	変化技	⑤	崩し	⑥	しかけ	
15	(2)	技をかけたときに、相手の防御に応じて、更に効率よく相手を投げたり抑えたりするためにかける技のこと。						3点
6	(1)	①	疾病	②	ヘルスプロモーション	③	個人	各2点
	(2)	①	A	差別	B	偏見	各2点	
		a	ウ	b	カ	各1点		
		②	c	ア	d		ク	
7	①	攻撃	味方から離れる動きのこと。 等					各3点
		守備	相手の動きに対して、相手をマークして守る動きのこと。 等					
	②	(あ)	創作ダンス	順不同	フォークダンス	現代的なリズムのダンス		各2点
22	(2)	a	文化	b	現代	c	効果	各2点
d		設計	e	6				
8	(1)	心臓全体が細かくふるえて、規則正しく血液を送り出せない状態のこと。						
	(2)	医師の診断に納得できなかつたり、確かめたりしたいことがある場合には、安心して治療を受けたり、誤診を防ぐためにも、別の医療機関で専門家の意見を求めること。						
	(3)	競争する相手から直接影響を受けることが少なく、安定した環境のなかで用いられる技術のこと。						
		(4)	障害の有無や年齢・性別・国籍にかかわらず、初めから誰もが使いやすいように施設や製品、環境などをデザインするという考え方のこと。					
12								